

総額401億7千300万円

新年度予算は3月4日に開会した市議会定例会議に上程、26日に各上程議案が可決されました。

一般会計予算

一般会計予算規模の総額は、169億2千300万円となっており、前年度当初予算159億200万円に比べて、6.4%増(10億2千100万円)となっています。

前年度と比較して予算額が増加しているのは、高齢福祉や社会教育の場としての機能を併せ持つ複合施設として整備を行う「小松島老人いこいの家建設事業」や「芝田放課後児童クラブ会館整備事業」をはじめ、地域における農畜産物の高品質・低コスト化等の推進に向け、農業生産法人へ生産技術高度化施設の導入を行う「強い農業づくり交付金事業」などの実施が主な要因となっています。

新年度の主な事業としては、継続事業であり、安全・安心にスポーツやレクリエーション等に利用できる施設として整備を行う「日峯大神子広域公園(脇谷地区)整備事業」や、Uターン人材の確保推進に向け、誘致の前提となるお試しサテライトオフィス機能を有し、地元学生と地元事業所との交流拠点施設を整備する「雇用創出事業」など地方創生への取り組みも引き続き進みます。また、新規事業では公共施設等の現状や将来の課題を踏まえ、各施設の状態に合った適正管理を実施していくための「個別施設計画策定支援事業」や、児童数の減少等の対応に向けて、目標とする適正配置や学校規模の実現を図るための「小松島市立学校再編実施計画策定事業」などを予算計上しています。

【地域福祉の充実】

プレミアム付商品券事業、小松島老人いこいの家建設事業など。

【教育の充実と文化の振興】

新開放課後子ども教室開設事業、少年武道場管理事業、外国語指導助手招致事業など。

【産業の振興とブランド産品育成】

強い農業づくり交付金事業、雇用創出事業、小松島市ふるさと応援寄附金事業など。

【観光交流によるにぎわい創出】

移住定住促進事業、観光・イベント振興事業、客船入港歓迎事業など。

【市民参画と協働の推進】

広報広聴推進事業、議会だより作成事業など。

【人口減少社会における行政運営】

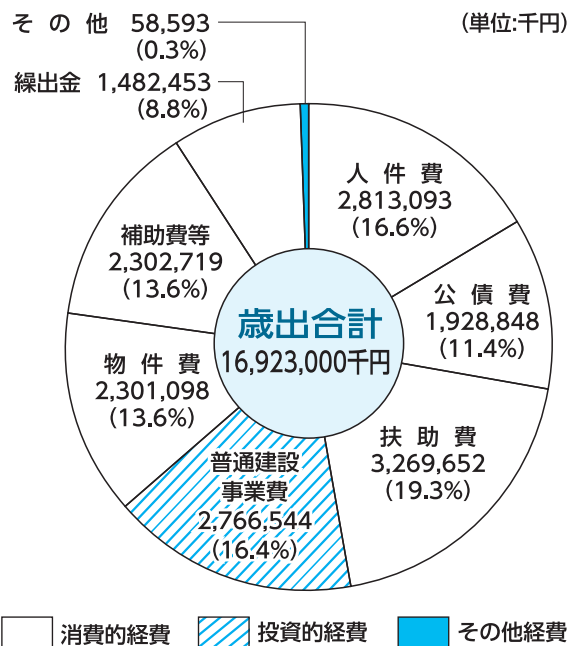
小松島市立学校再編実施計画策定事業、個別施設計画策定支援事業、まち・ひと・しごと総合戦略検証事業など。

主な普通建設事業は次のとおりです

(百万円未満は四捨五入)

- ☆都市基盤整備事業 4億9千700万円
- ☆消防施設整備事業 1千500万円
- ☆公営住宅整備事業 1億3千200万円
- ☆庁舎・福祉施設整備事業 2億7千600万円

一般会計歳出(性質別)の状況



特別会計予算

【競輪事業特別会計】

地方公共団体の財政資金の調達を目的として設けられている収益事業です。前年度と同様にグレードレースである記念競輪を含め計52日の開催を予定しており、予算についても前年度と同額となっています。

【後期高齢者医療特別会計】

原則75歳以上の方が加入する医療制度です。県下の市町村が加入する広域連合への納付金を支出します。前年度比6.0%の増となっています。

【住宅新築資金等貸付事業特別会計】

前年度比7.1%の減となっています。

【土地取得事業特別会計】

公共用地を先行取得するために必要な事業です。前年度予算と同額となっています。

【介護保険特別会計】

介護保険制度を社会全体で支えるための特別会計です。前年度比1.5%の増となっています。

【公共下水道事業特別会計】

社会資本整備の一翼を担う事業で、大雨等に対する浸水対策を実施します。金機第二排水区排水路築造工事などを行い、前年度比5.2%の減となっています。